

第57回

あんしんセミナー交流会

～地域活性化・安心安全な地域創りを目指して～

2017年

2月17日  19:00-21:30

東京都新宿区四谷4-3-1 ワールド四谷ビル7階 四谷三丁目駅より徒歩2分

「父親・母親のための楽しくなる育児とは？」

～子どもの才能を最大限に引き延ばし、次世代を担う天才児を作る～

講師：柴田 悦治 氏

柴田コンサルタント事務所 代表/幼児教育コンサルタント
柴田育児アカデミー校長



徳島県生まれ大阪育ち、千葉県在住。

大学卒業後、営業職として入社。その後、500名の営業マンのトップとなる。しかし、体調を崩し入院した事をきっかけに、これまでの価値観と人生が一変。家族との関りを再確認し、家庭生活を重視することを誓う。

その後、人間の幸福には「**幼児教育**」が大事だと確信し、日々研究に明け暮れついに自らのノウハウを体系化。日本初の「**育児相談顧問契約**」を開始。現在、日本国内だけでなく、アメリカ、フランス、イギリス、ドバイ、韓国、オーストラリアなど世界中に住む日本人の母親が育児方法を実践し、その累計顧客数は1,500名を超える。

セミナー

参加費

非会員	5,000円	※消費税・セミナー代・飲食代込
一般会員	4,000円	※ソフトドリンクのみの場合は500円割引
正会員	2,000円	※一般会員は入会金・月会費無料。当日登録も可。
		※正会員は入会金980円・月会費1,980円。当日登録も可。



交流会・会員
お申し込み

一般社団法人 日本あんしん生活協会

<http://www.rja.or.jp/>
info@rja.or.jp



第
56
回
53・44

「無農薬・無化学肥料でも多収穫を実現する奇跡の農業とは？」野々川尚氏

警察官・自衛官を経て、昭和57年に北海道で無農薬・無化学肥料の農業を始める。昭和63年には日本初の生産者主体で農産物を消費者へ直送する宅配システムを確立。その後、西オーストラリア州政府の要請で日本向け大規模農場の技術指導者として豪州へ移住し、さらに中国をはじめ東南アジア地域からも依頼が続き、20年間海外で技術普及に努める。NHK番組にもたびたび出演。現在は「日本の農業を元気に」「すべての家庭に健康野菜を届ける」をモットーにアグリビジネスコンサルタントとして日本で活動中。指導した熊本県阿蘇市の農家(サンチェを1日1万枚収穫)は、指導後わずか4か月で収穫量が3倍になり、「手を抜く」のではなく「手間のかからない」農業を実践させている。



第
56
回
56・46

「300年持つ天然住宅・林業再生 ～エコとコストを両立し循環型社会を実現する～」 相根昭典氏 一般社団法人 天然住宅 代表

シックハウス症候群という言葉がなかった25年以上前から住宅での化学物質汚染に危機感をもち、化学物質を一切使わない健康住宅を提唱。住まい手にとって心地の良い家を建てるだけでなく、国内の木材をふんだんに使い、林産地に適正な利益を届けることで、森も人も守られる仕組みを作りたいという思いから「天然住宅」を立ち上げる。現在は、循環型社会を目指した森林復興とエコ建築やエコヴィレッジの具現化に重点を置きながら、週休3日で年収700万円を実現する林業によって自治体と連携しての林業再生・地方創生を行っている。



第
49
回
49・55

「教育の立場から日本の問題解決を目指す / 20歳から始める認知症予防トレーニング」 舘野健三氏 TOSS中央事務局 認知症予防脳トレ士

小学校教員を39年間勤務。うち教頭、校長を16年勤め上げる。退職後、東京都大田区教育委員会を兼任し、認知症予防脳トレ士スーパーバイザー、コミュニティ脳トレ士、軽度認知症診断士として精神内科医師・某大学学長の協力により、脳科学最新情報を取り入れた講演を三菱総研や長野県清泉女学院大学などで開催。全国90箇所、合計3000名の認知症予防に寄与してきた活動が長野、栃木、千葉地方新聞に掲載され、特に東京都大田区認知症予防脳トレ講座は6年目を迎え、毎回申し込み開始後すぐにキャンセル待ちになるほどの人気。親と教師の付き合い方」など23冊を出版。



第
54
回
54

「地方創生最前線 ～地域経済が循環する仕組みとは～」庄司岳氏 ふるさと創生プロデューサー (有)S.Company 代表 / ノーザンランド(株) 専務 / 地質智商活カ会議 座長

IT業界を経て2002年に通販事業に初参入。九州の産元200余りの徹底取材を通じて本格焼酎の人気商品を数多く育て、2007年の楽天ショップ・オブ・ザ・イヤー(和酒部門)を受賞。その後、各企業のWEB戦略コンサルティングから実践コーチングまで幅広く活動。2015年より地方創生コンサルティングの依頼を受け、種子島ブランディング、道東インバウンドプロジェクトを手掛け、東南アジアとのパイプを活かしながら、地方活性化に取り組んでいる。2016年からは「地質智商活カ会議」を立ち上げ、地方創生に関わる熱き思いの関係者をつなげ、地方経済復活へ向けて精力的に活動中。



「生きていたくなるまちづくり ～耐震補強と地域活性化」木谷正道氏 NPO法人暮らしと耐震協議会理事長 / 首都防災ウィーク事務局長 / 碁石海岸で囲碁まつり実行委員長

東大経済学部卒業後、東京都庁に勤務し、調査研究室長、産業政策担当部長、IT推進室長等を経て2007年に退職。首都地震への危機感から2002年に「NPO法人 東京いのちのポータルサイト」を設立(現 副理事長)。2007年に「暮らしと耐震協議会」設立、第一回日本耐震グランプリ内閣総理大臣賞。施設での弾き語り、コンサート、囲碁普及、被災地支援などに取り組む。2016年8月にNHK「週刊ニュース深読み」出演。



第
53
回
53

「日本まるごとオーガニックプロジェクト」鳥谷恵生氏 日本オーガニックファーム協会 代表

1989年高知県四万十市生まれ。農家の家に生まれて、自然が大好き。学生時代に精神的にどん底に落ちたが周りの人のおかげで立ち直り、「自然を大切にしながら、人も幸せにできる仕事をつくる」という信念の下、農業関連会社を設立。その後、「日本オーガニックファーム協会」を立ち上げ代表となり、有機農業に関する出版や営農指導などの事業を手掛けている。並行して、日本発祥の上総掘りという井戸掘り技術をアフリカ現地の人々に伝承し自立を促しながら、アフリカの水問題解決を目指すNGOの理事として日本事務所を設立し支援活動を展開中。



第
52
回
52

「利益の創造と社会への貢献を同時に実現する文化をつくる」 若園忠義氏 (株)テーブルクロス プロデューサー



第
51
回
51

「遊んで学ぶ防災術 ～防災士パパが家族に教えるコト～」 防災士 渡辺徹氏

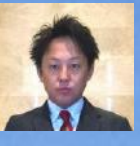


第
50
回
50

「東京大地震からどのように生き残るか？ 命を守る優先順位について」 瀧澤一郎氏 NPO法人東京いのちのポータルサイト 理事長



「災害時の水不足と世界の水危機の解決 ～空気から安心安全な飲料水を創る～」 河崎悠有氏 日本エコブルー株式会社 代表



第
49
回
49

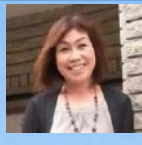
「うつ、ストレス、メンタル不調を克服する自分らしく生きる脳科学メンタルトレーニング」 講師：山本潤一氏 日本メンタル再生研究所 所長

筑波大学名誉教授の宗像恒次博士が脳科学などの研究により開発した独自のイメージワーク法に1995年に出会い、自らの対人恐怖を克服する。以後、17,000人以上のビジネスマンを支援し、某上場企業では、3年半の間初回うつ休職者の再発率0%という結果に貢献し論文も発表される。現在は、復職支援、再発防止支援などの他、事業継承の際の後継経営者に対する人間関係ストレス解決支援などを行っている。



第
47
回
47

「家庭の食卓を豊かに ～つながる家族と幸せ～」 櫻井友子氏 株式会社さくら工房 代表



第
48
回
48

「M8.2以上の地震を30分前に通知 ～地震予知の必要性和防災～」 犬伏裕之氏 みらい地震予測 株式会社 代表



第
45
回
45

「自然との共生について」浅井工壹氏 Nature's Best Photography Asia(NBPA)代表

「NBPA」は、自然をテーマにした世界最大フォトコンテストの一つで47ヶ国から毎年2万点以上の作品がエントリーされ入選作品約50点が世界最大の来場者数を誇る米国スミソニアン国立自然史博物館に展示。日本においては浅井氏を中心に震災直後の2012年から世界で唯一単独国で開催される「ネイチャーズ・ベストフォトグラフィー・ジャパン」を誕生させ、2015年からはアジア50ヶ国が参加する「NBPA」を開催。



日本あんしん生活協会は「安心・安全な生活」をテーマに「水」「食」「住宅」「健康」「医療」「教育」「防災」「人と人との絆」などの分野に関して、平時も有事も安心して暮らせる環境創りを支援していきます。活動としては、ホームページやメールマガジン等を通しての安心・安全に関する情報発信や、各種セミナー・交流会等のイベント主催、会員向けの福利厚生・経費削減サービスの提供、安心安全に関する活動を行っている企業や団体への寄付や支援活動を行っています。

